

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 4 1	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Sociodemographic determinants of multiple unhealthy behaviours 多くの不健康行動要因を規定する社会人類生態学的要因	
執筆者	
Laaksonen M, Prattala R, Lahelma E	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Scandinavian Journal of Public Health 2003;31:37-43.	
キーワード	
飲酒、身体活動、食生活、健康行動、喫煙、社会経済要因	
要 旨	
<p>人の不健康な行動はしばしば重なって見られるが、それらと関連している要因は、お互いに独立しているとするとその重なりは期待値よりも大きい。また、不健康な行動様式は多くの人々に広く行き渡って見られるものである。本研究は、この不健康な行動要因に関連する社会人類生態学的な要因を明らかにするためのものである。</p> <p>分析対象者は、フィンランドの国全体に亘って郵送で調査した成人男性 12,192 名と女性 13,822 名である。不健康な行動様式は日々の行動について質問したものであり、それらの3つないしは4つ重なった人の要因について検討した。</p> <p>その結果、年齢、教育水準、婚姻状態が3つないしは4つ以上の不健康行動要因を持つことと関連していた。教育と年齢、婚姻と年齢には交絡が見られた。これらの不健康行動に影響を与えている要因は集積することが多く、特定の個人や階層集団に集積する。したがって、不健康行動要因に対する対策は、これらの集団や特別の社会環境要因を持った人々に重点をおいて実施することが重要である。</p>	